

ひらがたと、かずの基礎を、 その子のペースで。

ぐりーんの支援プログラムのご紹介 | 学習・宿題支援



「ひらがながなかなか覚えられない」「小さい『っ』や『ゃ』でつまずく」「数を数えても、いくつあったか答えられない」。そんなお悩みの背景には、文字の形と音、数字と実際の数結びつける力などの「**土台**」が関係していることがあります。ぐりーんでは「**プログラム教材**」をもとに、その土台を段階的に育てます。

教材でサポートできる5つの分野



運動あそび
制作・運筆



ソーシャルスキル
話す・聞く・やりとり



学習・宿題支援
読み書き・計算



生活自立
はたらく準備



授業ツール
支援ツール

教材にもとづく支援だから、安心して続けられます

ぐりーんでは、発達の順番に沿って組み立てられたプログラム教材を使い、担当のスタッフが個別支援計画や専門的支援計画に基づいて支援しています。

品質にばらつきが少ない

教材の手順にそって進めるので、
担当者による差が出にくい

段階的にレベルアップ

「今できること」を確かめ、次のス
テップへ段階的に

ご家庭とも共有しやすい

ねらいが明確なので、取り組み
を具体的にお伝えできる

こんなお悩み、ありませんか？

文字や数、宿題についてのご相談も、見学時によくいただきます。ぐりーんでは、それぞれに合った教材と進め方で支援しています。

「ひらがなが読めない字がある」
「1文字ずつ拾い読みになる」

ぐりーんでは

カードカルタなどで文字の「形」と「音」を結びつけ、単語づくりへと進めます。

くわしくは P.3

「話せるのに、小さい『っ』『ゃ』や、
のばす音が書けない」

ぐりーんでは

特殊音節をまず「読み」で確かめてから、「書き」へ進む順番で練習します。

くわしくは P.4

「数えられるのに、全部でいくつ
か答えられない」

ぐりーんでは

指さしで1つずつ数える練習から始め、数字・読み方・実際の数を結びつけます。

くわしくは P.5

「宿題に取りかかれない」
「途中で集中が切れてしまう」

ぐりーんでは

量と順番を一緒に決め、見通しを持って取り組める環境を整えます。

くわしくは P.6

「形」と「音」と「意味」を、順番につなげます

ひらがなも数字も、まず目で見た「形」と、声に出す「音」を結びつけるところから始まります。そこに実際のものや数量という「意味」がつながると、読む・書く・計算するへと進めます。

形と音を結ぶ

文字・数字を見て
言える

意味とつなぐ

単語・数量が
わかる

書く・使う

書く・比べる・
合わせる

あ

「あ」の形

「あー」

声に出す音

あり・あめ

知っていることば

01 ひらがなの読み書き

読み・書き

プログラム教材では、ひらがなの読み書きを4つのステップに分けています。「読む」ができてから「書く」へ、清音から濁音・特殊音節へと、少しずつ難しさを上げていきます。このページではSTEP1・2をご紹介します。



「す」どれかな？

ひらがなカードカルタ:指定された文字をカードの中から選びます

1

ひらがな50音の読み

ひらがな1字の「形」と、読み方である「音」を一致させ、1字ずつ声に出して読めるようにします。お子さまが知っていることば(意味)も、形と音をつなげる手がかりにします。

教材例 ひらがなカードカルタ(文字と音の一致)、カードを並べて写真の名前をつくる単語づくり

2

ひらがな50音の書き

なぞり書きで運筆の動きに慣れたら、見本を見て書く、写真のものの名前を書く、聞いたことばを書きとる、と少しずつ見本を減らしていきます。

教材例 うつし書きプリント、うつし書きビンゴ、ものの名前を書こう、聞いた単語を書こう

「書く」は、見本を少しずつ減らしながら

はじめ
なぞり書き
線をなぞって
動きに慣れる



見本あり
うつし書き
見本を見ながら
同じ字を書く



絵を見て
ものの名前
写真の名前を
ひらがなで



見本なし
聴写
聞いたことばを
書きとる

次に進む目安は「その字とわかる」くらいに書けること。形の正確さよりも、まずは読める字で書けることを大切にします。

01 ひらがなの読み書き

読み・書き

STEP3・4では、点や丸がつく文字や、小さい文字・のばす音を含むことばに進みます。

3

濁音・半濁音を含む単語

「か」と「が」、「は」と「ぱ」など、点(・)や丸(°)がつく文字の違いを聞き分け、読み書きします。

教材例 濁音・半濁音でカードカルタ(「が」どっち?)、濁音・半濁音の書きプリント



4

特殊音節を含む単語

小さい「ゃ・ゅ・ょ」、小さい「っ」、のばす音を含むことばの読み書きです。まず読み、次にカードでの単語づくり、最後に書き、の順に進みます。

教材例 カードカルタ(「とらっく」どっち?)、単語づくり、ことば探しプリント、書きプリント

拗音 ようおん

小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」で書き表す音

きゃべつ

促音 そくおん

小さい「っ」で書き表す音

らっこ

長音 ちょうおん

母音をのばした音

しーそー

話せるのに書けない、には理由があります

特殊音節は、文字の大きさや前の音によって読み方が変わるため、それまでのルールとちがう読み方・書き方になります。そのため、お話は問題なくても、読み書きになると苦手になることがあります(例:「ちゅーりっぷ」と言っても、文字で読んだり書いたりするのは難しい)。ぐりーんでは、まず「読み」やカードでの単語づくりがすらすらできるようになってから、「書き」に進みます。

02 かずの基礎

数・計算

たし算やひき算の前に、数を正しく数える、数字を読み書きする、数をくらべる、といった「かずの基礎」が必要です。プログラム教材では5つのステップに分け、はじめは実際のものを使い、少しずつ数字だけでできるようにしていきます。



数字・読み方・実際の数。この3つが結びつくことを目指します

1 かずを数えよう

ものを指さしながら「いち、に…」と1つずつ数え、最後に言った数が全部の数だとわかるようにします。できたら、たくさんの中から「3個とって」と指定された数だけ取り出す練習へ。

教材例 指さして「全部でいくつ?」、ボウリングのピンを数える、お買いものゲーム

2 数字の読み書き(1~10)

数字カードを読む、イラストの数と数字を合わせる、数えて数字を書く、の順に進めます。

教材例 数字カードカルタ、「かぞえて数字を書く」プリント・ボウリングゲーム

3 数量の多少・数字の大小

見てくらべやすい数量で「どちらが多い?」を答え、そのあと数字どうしの大きい・小さいへ進みます。

教材例 いちごや車のイラストでくらべる、カードでくらべる

4 なんばんめ

「右から2番目は?」のように、順番を数える力を育てます。

教材例 動物の並びで「これは何番目?」、見本と同じに並べる

5 5までの合成・分解

「5は2と3」「1と2で3」のように、数を分けたり合わせたりします。たし算・ひき算の土台になります。

教材例 具体物で分ける・合わせる → 数字で分ける・合わせる

03 宿題に、自分で取り組む力を育てる

宿題支援

放課後等デイサービスでは、学校の宿題にも一緒に取り組みます。音読やひらがな・漢字の練習、計算プリントなど、学校で習っている内容に合わせて、答えを教えるのではなく、「何を・どれだけ・どの順番で」やるかを自分で決めて取り組めるよう、見通しと環境を整えます。

1 宿題を確かめる

連絡帳を見ながら、今日の宿題を一緒に確認

2 量と順番を決める

取り組む順番を並べ、区切りのよいところで分ける

3 区切って取り組む

タイマーで時間の目安を示し、休憩もはさむ

4 できたを確かめる

できたところをほめ、ご家庭にも様子をお伝え



明るく広い学習スペース。落ち着いて取り組める席を選びます。



まわりが気になるときは、個別スペースで。



未就学のお子さま用の机といすもそろえています。

集中しやすくする環境の工夫

- ・机の上には今使うものだけを置き、まわりの刺激が少ない席を選びます
- ・やることの一覧を目で見てわかるようにし、終わったものに印をつけます
- ・宿題の量や内容が負担になっている場合は、保護者さまとご相談しながら進め方を考えます

04 支援の進め方

お子さま一人ひとりの目標に合わせて、保護者さまと相談しながら進めます。

1 ようすを知る

見学・面談や日々の観察で、得意・苦手・好きを把握

2 ねらいを決める

個別支援計画の中で「まずはここから」を決定

3 教材で練習

ねらいに合う教材を、小さなステップで

4 ふりかえり・共有

できたことをご家庭に伝え、次のねらいへ

05 年齢に合わせたプログラム例

未就学のお子さま

児童発達支援

- ・カードカルタで、ひらがなの形と音を結びつける
- ・指さして数える、「3個とって」など数に親しむあそび
- ・なぞり書きで、書く準備

小学生

放課後等デイサービス

- ・濁音・特殊音節を含むことばの読み書き
- ・数の大小・順番・合成分解で、計算の土台づくり
- ・学校の宿題に、見通しを持って取り組む

中学生・高校生

放課後等デイサービス

- ・課題やテスト勉強の計画を立てる
- ・時計・お金・予定管理など、生活で使う力
- ・自分に合った学び方を知る

06 ご家庭でもできる関わり

身近なことばで読む

好きな食べ物やキャラクターの名前など、知っていることばは文字を覚える手がかりに。音読は1文ずつ交代で読むと負担が減ります。

生活の中の数

「スプーンを3本持ってきて」「どっちが多い？」など、お手伝いやおやつの際にも数の練習があります。

宿題の時間と場所を決める

「おやつのおあと、リビングの机で」など、毎日同じ流れにすると取りかかりやすくなります。

できた部分をほめる

全部できなくても「この字、ていねいに書けたね」「10まで数えられたね」と、できたところを具体的に。

まずはお気軽に、見学・ご相談を

お子さまのようすやお悩みをお聞きしながら、学習スペースや教材、活動の雰囲気を実際にご覧いただけます。



ご利用について

- ・対象:未就学のお子さまから高校生まで(児童発達支援・放課後等デイサービス)
- ・ご利用には、お住まいの市町村が発行する「通所受給者証」が必要です。手続きについてもご相談ください
- ・利用者負担は原則1割で、世帯の所得に応じて月ごとの上限額が決まっています。就学前3年間の児童発達支援は、利用者負担が無償化されています(おやつ代などを除く)

奈良県内4拠点でお待ちしています

天理本店

〒632-0076 天理市岩室町57番地4

菅原支店

〒631-0823 奈良市西大寺国見町三丁目2番10号

橿原支店

〒634-0008 橿原市十市町843-2

田原本支店

〒636-0247 磯城郡田原本町阪手638-1

ご予約の際にお知らせいただくと、見学がスムーズです

お子さまの年齢・学年

気になっていること

受給者証の有無

ご希望の曜日・時間帯

見学予約・ご相談はこちら

0743-62-7557

受付:平日 10:00~17:00 / www.green-2017.com



ホームページ



ご利用案内



LINE 友だち追加で、もっと気軽につながれます

学習・ことば・生活リズムなど、子どもの発達に役立つ情報をお届けします。見学やご相談のきっかけにもどうぞ。QRコードを読み取って、友だち追加してください。